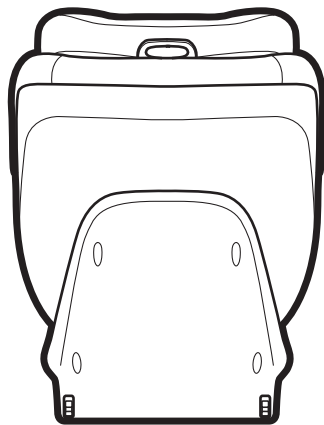


Cradle®

クレイドル オーカ クルターンプライム i-Size



企画・販売

SANSHO

株式会社シーエー産商

本社 〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51
www.ca-sansho.co.jp

お客様相談窓口

●本製品に関するお問い合わせ(月曜日～金曜日 ※弊社休日は除く)

0120-034-017

受付時間/AM10:00～12:00・PM1:00～5:00

Cradle®

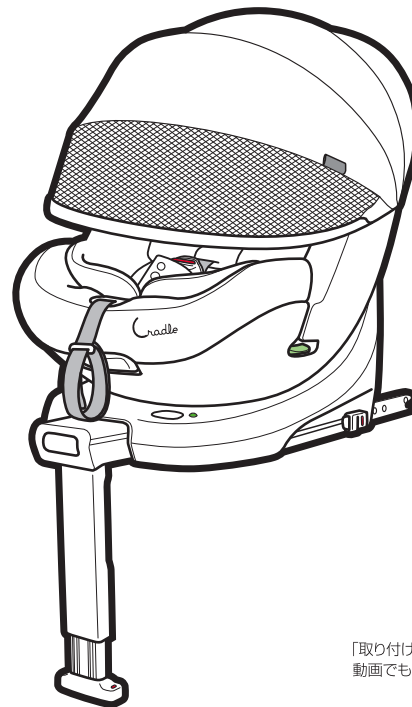
クレイドル オーカ クルターンプライム i-Size

取扱説明書/保証書

ご使用になる前に必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき、十分にご理解された上で、記載の内容に従って正しくご使用ください。



R129/03



「取り付け方法」は、
動画でもご紹介しています。



本装置は、身長40～125cm(新生児～7歳頃まで)のお子様用です。

※本書に使用しているイラストは、取り扱い方や使い方をわかりやすくするため、実際とは多少異なる場合があります。

シートを傷めるおそれがあるため、**本革シートの車両**はそのまま取り付けしないでください。取り付ける場合は、保護マット等を敷いてからお取り付けください。(別売)

目次

●ご使用になる前に	本装置について..... 2
	ご利用にあたって..... 2
	安全にご使用いただくために..... 3
	ご使用いただけるお子様の目安と取り付け方... 7
	ISOFIX+サポートレグで取り付けできる座席... 9
	取り付けできない座席.....10
	使用できる3点式シートベルト.....11
	使用できないシートベルト.....12
●各部の名称13
●各部の使い方	バックル・タンク.....15
	肩ベルト.....16
	ヘッドサポート.....17
	リクライニングレバー.....18
	サポートレグ.....19
	回転ボタン.....20
	ISOFIX.....21
	インナークッション/サンシェード.....22
●チャイルドシートモード	取り付ける前に.....23
としての使い方	本装置を車両に取り付ける.....24
	お子様を乗せる前に.....27
	お子様の乗せ方.....28
	お子様の降ろし方.....30
●ジュニアシートモード	取り付ける前に.....31
としての使い方	本装置を車両に取り付ける.....33
	お子様の乗せ方.....33
	お子様の降ろし方.....33
●お手入れのしかた	カバー類の取り外し方.....34
	カバー類の取り付け方.....35
	カバー・パッド・クッション.....38
	本体・ベルト等.....38
●困ったときは39
●保証規定/保証書42

ご使用になる前に

本装置について

本装置は、安全基準(UN ECE R129/03)^{*1}に適合しており、身長が40～125cmまでのお子様を対象とした、R129(i-Size)改良型年少者用補助乗車装置です。

^{*1})UN ECE R129は、従来の安全基準「UN ECE R44/04」適合のチャイルドシートと比べ、より安全性を高めるために推進された新しい安全基準です。

●新基準UN ECE R129の詳細については、弊社HP(QRコード→)をご覧ください。



本装置は、身長が40～105cm(新生児～4歳頃)まではチャイルドシートモードとして、身長が100～125cm(3～7歳頃)まではジュニアシートモードとしてご使用いただけます。

ISOFIX取付金具が装備され、サポートレグ^{*2}が固定できれば、本装置は装着できますが、装備されていても車種によっては適合しない場合がありますので、必ず車両の『取扱説明書』・弊社ホームページをご確認ください。

^{*2})サポートレグは、ジュニアシートモードでは使用しません。

●車両の『取扱説明書』において「i-Size」に対応すると表記されていない場合でも、取り付け可能な場合がありますので、弊社ホームページを参照してください。

〈中古品のご使用について〉

前の使用者の使用履歴や使用状況が不明な場合は、ご使用をお控えください。特にベルトや部品にキズやひび割れ等の損傷がある場合は、事故等により強い衝撃を受けたおそれがありますので決してご使用にならないでください。

※ご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

ご利用にあたって

●本書を読んでいただくためのポイントマークについて...

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください。

警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがあることを記載しています。

注意

安全のため、ご注意ください。記載しています。

補足

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



図に表示している行為の禁止を示しています。

ご使用になる前に 安全にご使用いただくために

記載内容を守らないと、生命の危機または重大な傷害につながるおそれがあります。

警告

月齢が15ヵ月かつ身長が76cmを超えるまでは、車両の進行方向に対して、必ず後ろ向きで使用してください。

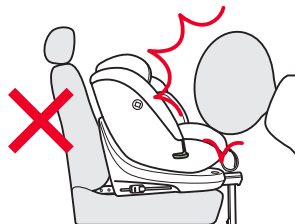
※本装置は安全上、後部座席に取り付けてご使用ください。

- 本装置は『取扱説明書』通りに取り付けてください。
- 車両座席の種類・形状により、『取扱説明書』通りに取り付けできない場合は、ご使用にならないでください。
- 本装置の肩ベルトが緩んだ状態で、ご使用にならないでください。肩ベルトに緩みがあると首に巻き付いて窒息するおそれがありますので、必ず正しい長さでご使用ください。
- お子様を本装置に乗せてセットする際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせて、適切な位置で拘束されるようにしてください。
- 走行中にお子様の乗せ降ろし(乗り降り)や、本装置の調節等は絶対に行わないでください。
- 拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類・付属金具等を外して使用しないでください。(インナークッションを除く)
- 緊急時に脱出の妨げになる座席には取り付けしないでください。(例:片側スライドドアのドア側座席など)
- サポートレグを収納した状態で使用しないでください。衝撃時に機能が發揮できません。必ず高さを調節してからご使用ください。(ジュニアシートモード使用時を除く)
- 回転・リクライニングのロックがされていない状態で、使用しないでください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が動いて不慮の事故につながるおそれがあります。
- バックルボタンの強さは安全規格で決まっていますが、お子様の力でもタンクが外れる場合があります。バックルにタンクが確実にロックされているか確認をしていただき、お子様にバックルボタンを押さないよう教えてあげてください。

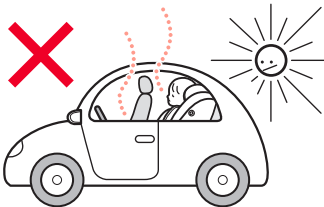


警告

- フロントエアバッグが装備されている座席には、本装置は使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。
※サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの場合は、使用できます。
- 車両のシートベルトや本装置のベルトを傷つけないように注意してください。傷ついた場合、衝撃に十分な効果が得られない場合がありますので、ご使用にならないでください。



- 本装置を取り付けた後に、座席を前後にスライドしたり、背もたれのリクライニングをされた場合は、再度取り付けの緩み等がないか再確認をしてください。
- お子様の負担を考え、1時間以上連続してご使用にならないでください。
- 落下や衝突等により本装置が衝撃を受けた場合、外観に異常がなくても破損のおそれがありますのでご使用にならないでください。
- 緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。バックルボタン(赤いボタン)を下に押しもタンクがバックルから解除できない場合は、本装置ベルトをはさみ等で切って、お子様を降ろしてください。
- ISOFIX・サポートレグがロックされていない状態で、使用しないでください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が動いて不慮の事故につながるおそれがあります。



- 本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる原因になる場合があります。

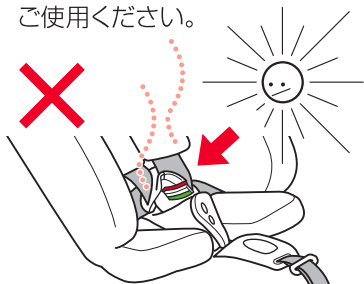
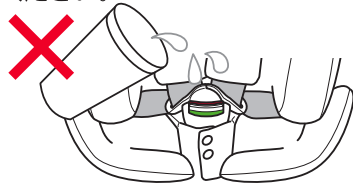


ご使用になる前に 安全にご使用いただくために

記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

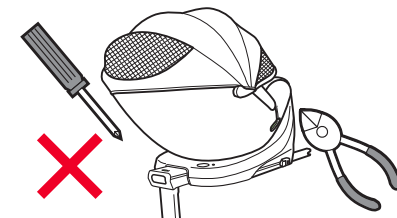
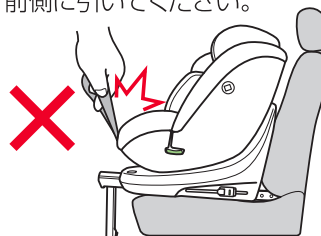
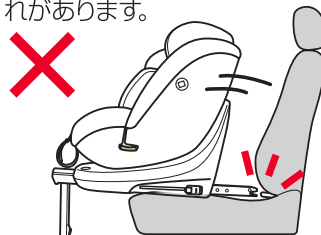
⚠ 注意

- 本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
- 走行や運転操作の支障になる座席には取り付けしないでください。
- お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がり、中腰にさせないようにしてください。
- 本装置に重いものを載せないでください。
- 本装置を取り付ける際に、車両の座席やドアに挟まれたりしないように注意してください。
- 炎天下での駐車時には、金属部分や樹脂部などが熱くなりやけどをするおそれがあります。お子様を乗せる際には、各部に触れて熱くなっていないかを確認したうえでご使用ください。
- パッド類など本装置の部品が破損した状態でご使用にならないでください。
- 本装置のベルトがねじれたり、緩んだ状態でご使用にならないでください。
- 本装置のバックルや可動部分に、水やジュース等をこぼさないでください。ゴミや食べかす等が入らないように注意してください。万一動きが悪くなり正しく機能しない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。
- 車両内に、傷害を与えるおそれのあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がケガをするおそれがあり危険です。
- 本装置を取り付ける座席には、マット類など何も置かないでください（本革シートなどのシートを保護するためのマットは除く）。衝突した際、本装置の性能が十分発揮されない場合があります。



⚠ 注意

- 本装置をホコリが溜まりやすい場所に放置して使用すると、ISOFIXコネクタ等の可動部分が詰まり、故障の原因になる場合があります。
- お子様に本装置の取り付けや、操作をさせないでください。
- 本装置にお子様を乗せない時でも、安全のため必ずISOFIXコネクタやシートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が移動してケガをするおそれがあります。
- 本装置を肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節ボタンが破損することがありますので、必ず手前側に引いてください。
- 本装置を設置する際、ISOFIXコネクタのレール等に指を入れて持たないでください。指先をケガをするおそれがあります。
- お子様に本装置の取り付けや、操作をさせないでください。
- 極端な厚着や防寒具の上から本装置のベルトを装着すると、ベルトが緩むおそれがあります。お子様にベルトを装着した上から防寒対策をしてください。
- 本体カバーやパッド・クッション類のお手入れに、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。
- 改造・修理はしないでください。破損・故障の原因になります。



ご使用になる前に

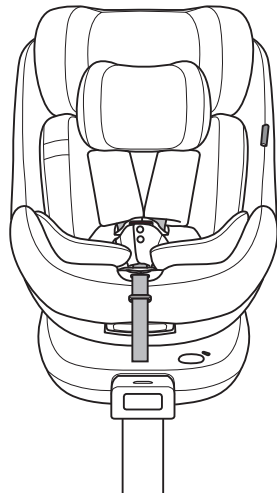
ご使用いただけるお子様の目安と取り付け方

※体重は目安です。お子様の身長に合わせてご使用ください。

チャイルドシートモード

身長40cm～105cm

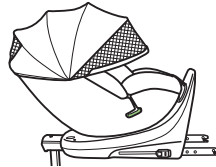
- 適応年齢… 新生児～4歳頃
- 体重の目安… 約2.5～18kg



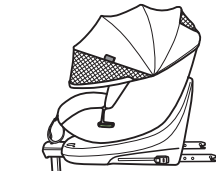
身長**76cm**を超えるまでは、
車両の進行方向に対して、
必ず**後ろ向き**で
インナークッションを使用します。



〈後ろ向き〉



〈前向き〉



ISOFIXコネクタと**サポートレッグ**で取り付け、
本装置の**肩・腰ベルト**、**バックル**でお子様を拘束します。

※身長が76cmを超えても、できる限り「後ろ向き」でのご使用をお勧めします。

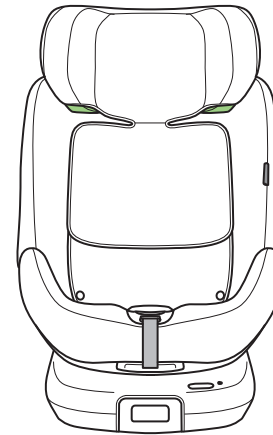


上記の条件を満たさないお子様には、絶対に
使用しないでください。
また、助手席には絶対に使用しないでください。

ジュニアシートモード

身長100cm～125cm

- 適応年齢… 3歳頃～7歳頃
- 体重の目安… 約15～25kg



サポートレッグ、バックル等を
カバーの中に収納し、
インナークッション、パッド等を
取り外して使用します。



〈前向き〉



ISOFIXコネクタで取り付け、
車両の**3点式シートベルト**でお子様を拘束します。

※ISOFIX取付金具の付いていない座席には、3点式シートベルトのみでも
使用できます。



上記の条件を満たさないお子様には、絶対に
使用しないでください。
また、助手席には絶対に使用しないでください。

ご使用になる前に

ISOFIX+サポートレッグで取り付けできる座席

ISOFIX取付金具が装備され、サポートレッグがフロアに接地する座席。車両の『取扱説明書』にi-Size適合、ISOFIX対応の表記や下記のマークがある座席。

※ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができますが、ISOFIX取付金具を装備したすべての座席に取り付けられるものではありません。ご不明な場合は車両の『取扱説明書』をご確認いただくか、車両をご購入された販売店にお問い合わせください。

本装置のISOFIXサイズクラスは下記になります。車両の『取扱説明書』または車両をご購入された販売店で対応状況をご確認ください。

●後ろ向きで使用

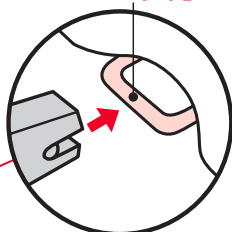
サイズ等級	D
固定具	ISO/R2 チャイルドシートモード

●前向きで使用

サイズ等級	B1	
固定具	ISO/F2X チャイルドシートモード	ISO/B2 ジュニアシートモード



ISOFIX取付金具

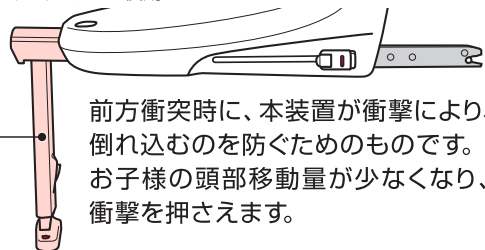


補足 ISOFIX取付金具は、通常2列目の左右座席に装備されています。ISOFIX取付金具が座席に隠れて見えない場合があります。

本装置の下部をサポートレッグで固定して、衝突時の安全性を高めます。

※ジュニアシートモードでは、サポートレッグは使用しません。

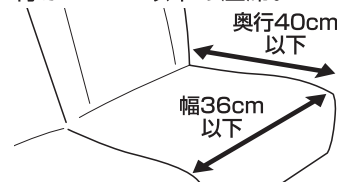
サポートレッグ



前方衝突時に、本装置が衝撃により、前方に倒れ込むのを防ぐためのものです。お子様の頭部移動量が少なくなり、その衝撃を押しえます。

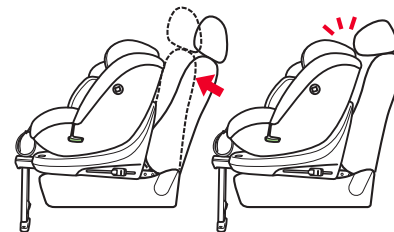
取り付けできない座席

●座面の幅が36cm以下、座面の奥行が40cm以下の座席。



●座席と本装置の背もたれとの間に大きな隙間ができる座席、または車両のヘッドレストと本装置が干渉して、固定が不安定になる座席。

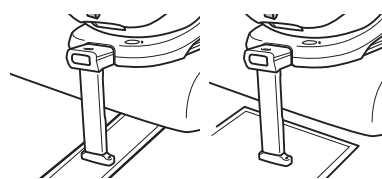
※座席の背もたれを起こしたり、ヘッドレストを上下に調節したり外すことで、取り付けることができる場合があります。



●ISOFIX取付金具が装備されていない座席。(チャイルドシートモード)

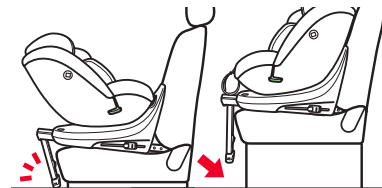
●3点式シートベルトが装備されていない座席。(ジュニアシートモード)

●サポートレッグが接地するフロアに、座席のスライドレールや床下収納スペースがある座席。



●本装置が車両のドアトリム等に干渉して、ドアを閉めることができない座席。

●フロアに対して座席が低すぎたり、フロアの形状によりサポートレッグが正しく取り付けできない座席。

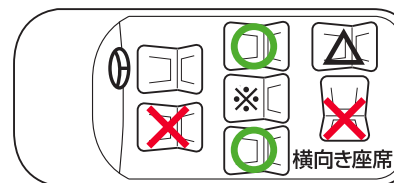


●運転操作や、視界のさまたげになる座席。

●緊急時に同乗者が脱出する際、さまたげになる座席。

●進行方向に対して、横向きや後ろ向きの座席。

●助手席には絶対に取り付けしないでください。



○ 取り付け可能 × 取り付け不可

△ ジュニアシートモードのみ
取り付け可能

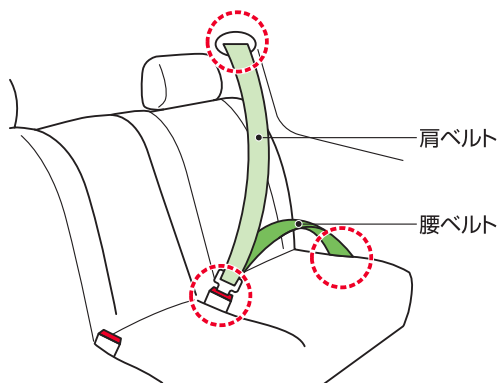
※ISOFIX取付金具が、装備された座席の場合は○。

※弊社では、3人掛け中央座席の適合確認はおこなっていません。

ご使用になる前に

〈ジュニアシートモード使用時〉使用できる3点式シートベルト

必ず3点式シートベルトをご使用ください。
(腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で身体を支えるシートベルト)



3点式シートベルトの種類



ELR緊急ロック式
〈巻き取り機能付〉

ゆっくり引き出すと自由に伸び縮みし、勢いよく引くとロックするシートベルト。



ALR/ELR
〈チャイルドシート
固定機能付〉

すべて引き出した後で自動的に巻き戻り、それ以上伸びなくなる。すべて巻き取るとロックが解除されるシートベルト。



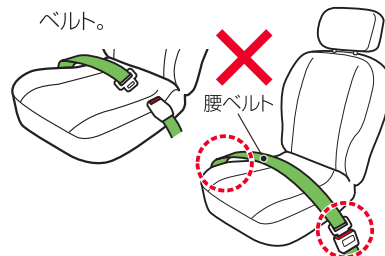
その他

上記にあてはまらないシートベルトは、ジュニアシートモードで、ご使用いただけません。

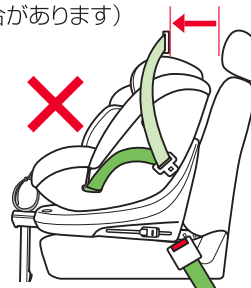
※ご使用になる前に、車両の『取扱説明書』をご確認ください。

〈ジュニアシートモード使用時〉使用できないシートベルト

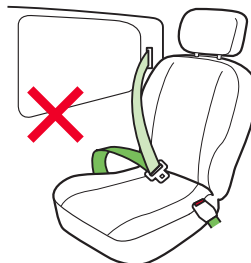
- シートベルトが装備されていない。
- 2点式シートベルト。
※ 腰ベルトの左右2点で身体を支えるシートベルト。



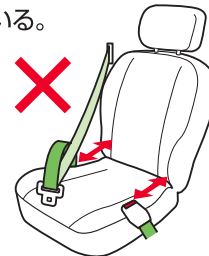
- 肩ベルトの出口が座席より前にある。(背もたれを起こしたり、座席を前にスライドさせることで使用できる場合があります)



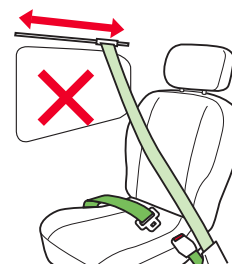
- 腰ベルトまたは肩ベルトがドアに取り付けられている。



- 車両のバックル、シートベルトが背もたれよりも約10cm以上前に出ている。



- 自動式ショルダーベルト(パッシブシートベルト)*が、装備されている。
※ドアを閉めると自動的にシートベルトを装着する機能があるシートベルト。

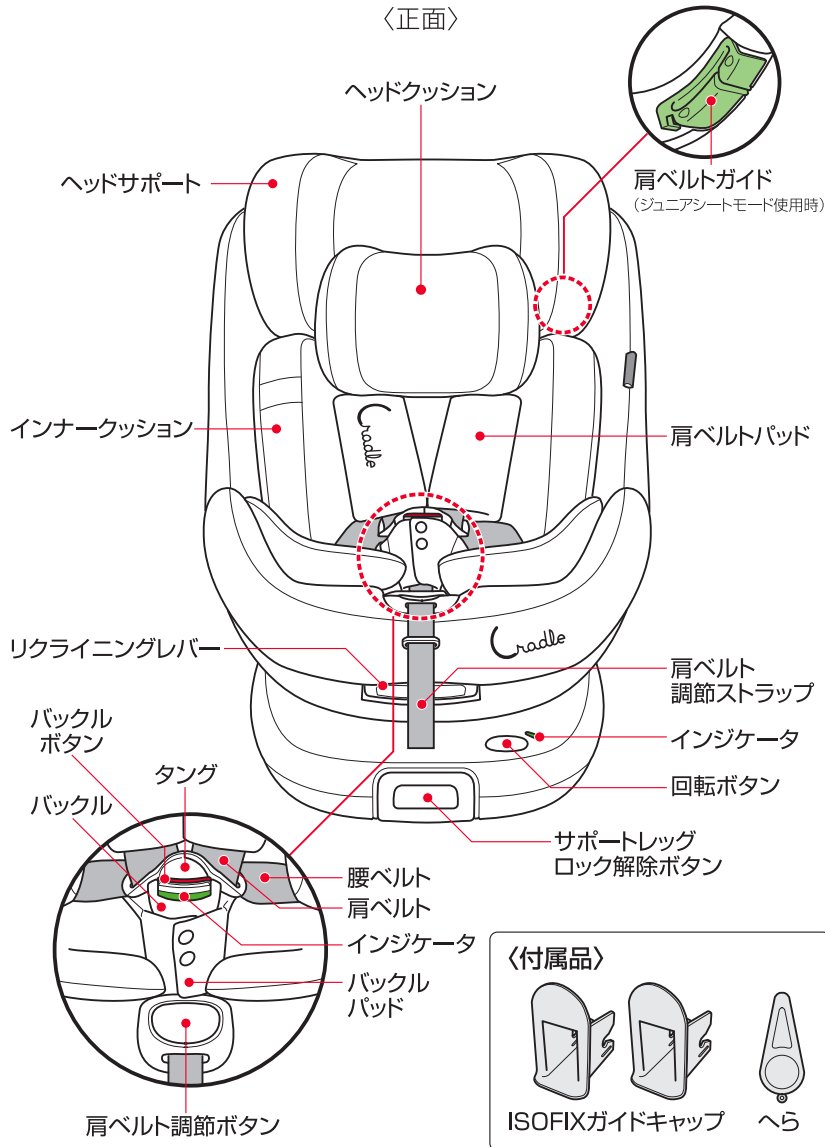


- 受け側のバックルベルトの長さが約15cm以上ある。(車両のバックルやタンクが本装置とあたり、しっかり締め付けができません。)

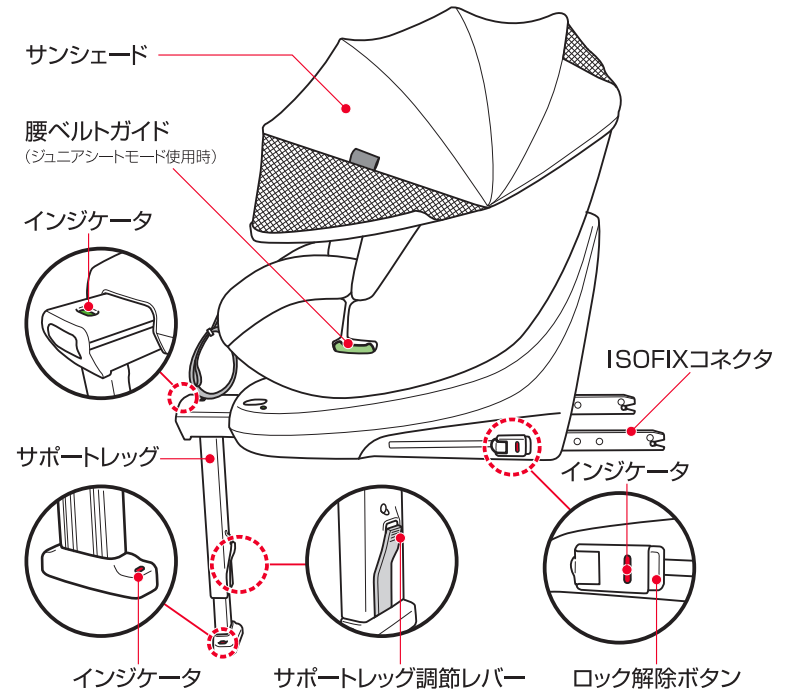


各部の名称

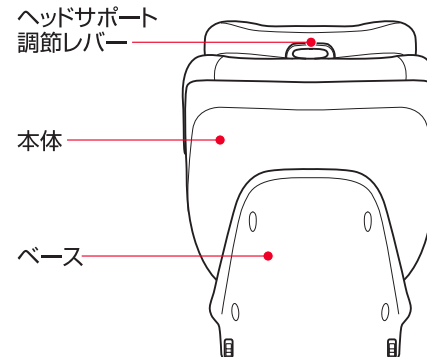
〈正面〉



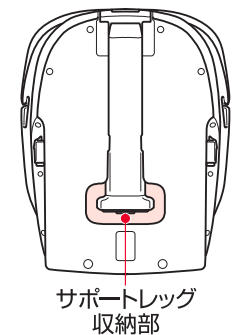
〈側面〉



〈背面〉



〈底面〉





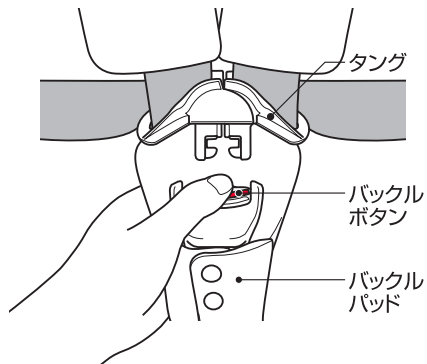
動画

各部の使い方

バックル・タング

●ロックを解除する

バックルパッドを引き下げ、バックルボタン(赤いボタン)を下に押し、タングをバックルから解除します。

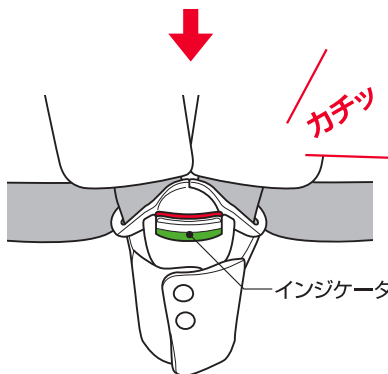
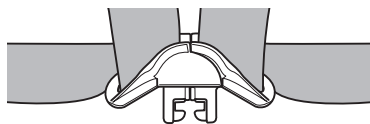
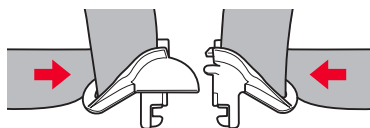


●ロックする

左右のタングを合わせます。

バックルパッドを引き下げ、タングをバックルに「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。

※ロックするとバックルに緑色のインジケータが表示されます。



警告 バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたこと、緑色の表示を確認してください。



注意 タングの接合部に強い力を加えないでください。破損するおそれがあります。



補足 バックル(タング差し込み口)に飲み物や食べかす等が入ると、故障の原因になりますので、水分・ゴミは取り除いてください。

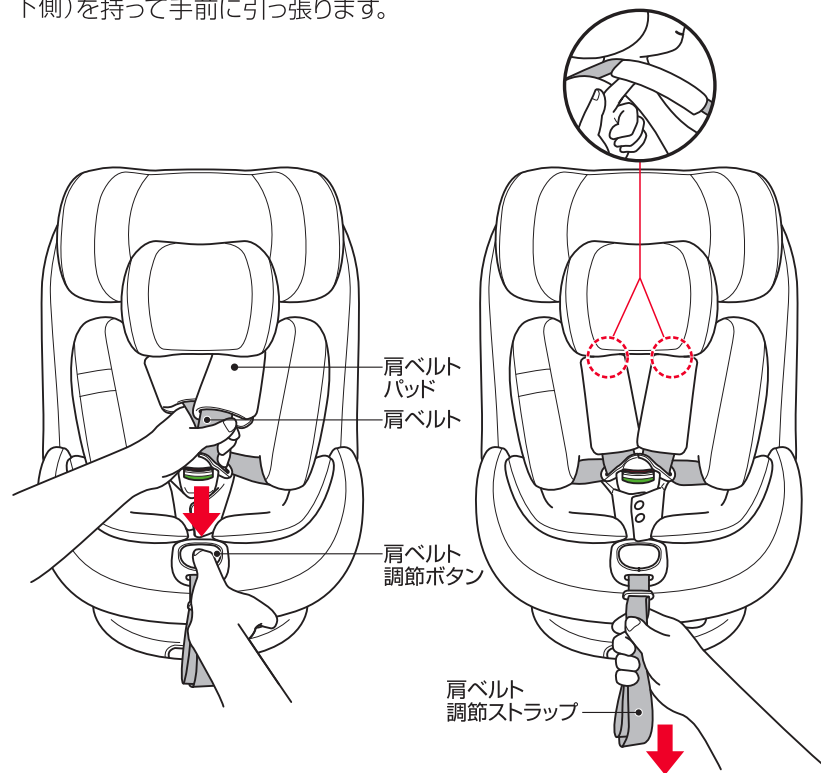
肩ベルト

●肩ベルトを緩める

肩ベルト調節ボタンを押しながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下側)を持って手前に引っ張ります。

●肩ベルトを締める

肩ベルト調節ストラップを、手前にゆっくり引っ張ります。



注意 左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがありますので、必ず手前に引いてください。



補足 肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

各部の使い方

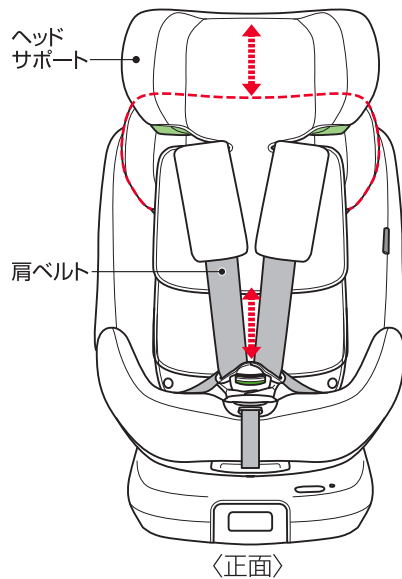
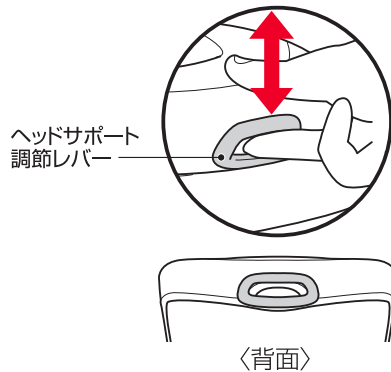
ヘッドサポート

ヘッドサポート(肩ベルトと連動)の調節

肩ベルトが緩んでいるか確認し、ヘッドサポート調節レバーを持ち上げて、ヘッドサポート・肩ベルトを同時に上下させることができます。お子様の身体に合った位置に調節してください。調節後は、確実にロックされていることを確認してください。

補足

肩ベルトを緩めてからヘッドサポートの高さの調節をしてください。



高さ調節の目安

肩ベルトの出口がお子様の肩の高さと同じか、やや高い位置になるように高さを調節します。



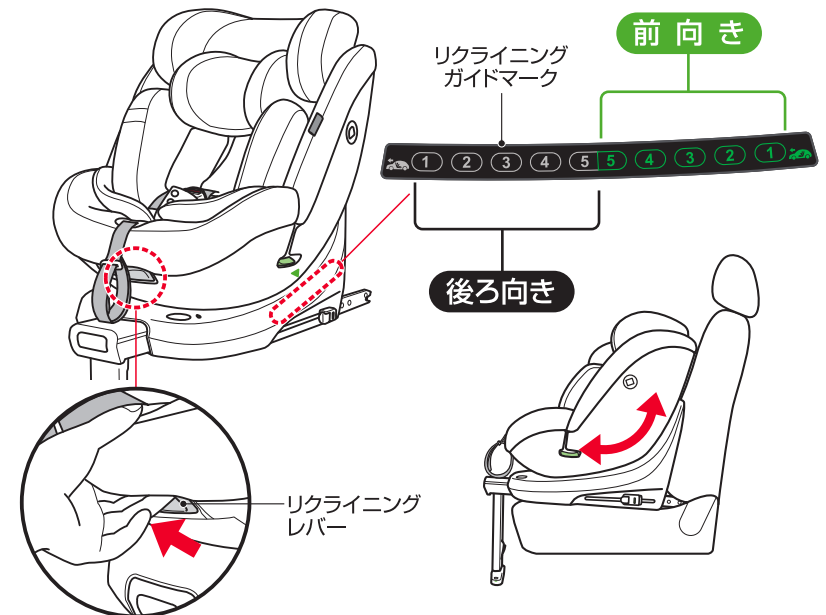
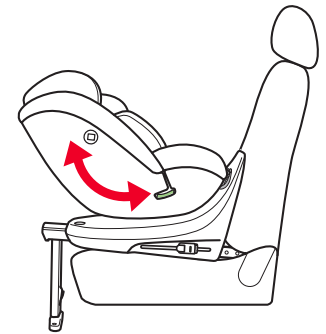
リクライニングレバー

リクライニングレバーを引きながら、本体を前後にスライドさせてリクライニング角度(前向き:1~5/後ろ向き:1~5)を調節できます。

補足

後ろ向きでご使用の場合は、お子さまの負担が少ない低い位置での使用をお勧めします。

リクライニングレバーを離すと、本体はロックされます。



警告

本体を揺すって、ロックされていることを確認してください。確実にロックされていない状態では、決して使用しないでください。

注意

リクライニングさせる時に、お子様が手や指などを挟まないように注意してください。走行中はリクライニング操作をしないでください。

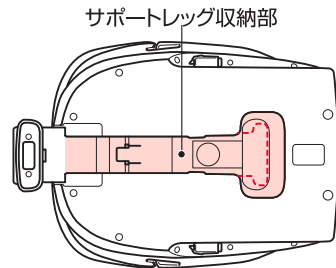
各部の使い方

サポートレッグ

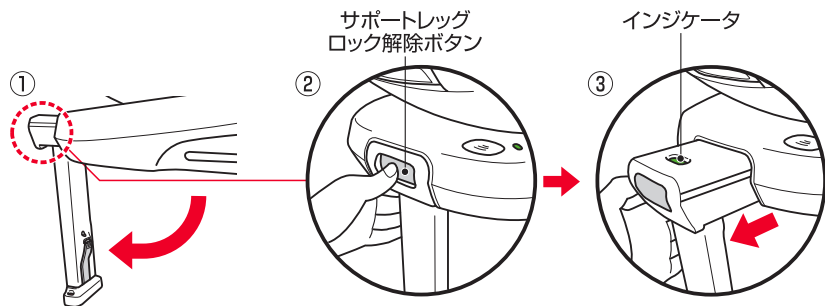
本装置を横に寝かせ、サポートレッグ収納部から①サポートレッグを起こします。

②サポートレッグロック解除ボタンを押してベースから引き出します。

③サポートレッグのインジケータが緑色に変わるまで手前に引き出します。



サポートレッグ収納部

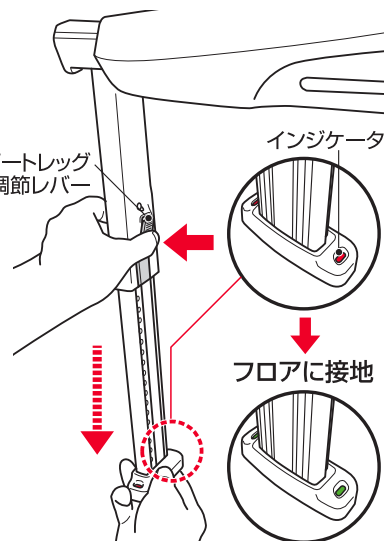


サポートレッグ
ロック解除ボタン

インジケータ

サポートレッグ調節レバーを押すとロックが解除され、サポートレッグが下がります。

車両のフロアにしっかりと接地するとサポートレッグインジケータが緑色に変わります。



インジケータ

フロアに接地

警告 フロアに接地していない状態やサポートレッグを収納した状態で、決して使用しないでください。

注意 引き出し・収納する際に、ベースと収納部との隙間で手を挟まないようにしてください。

補足 ご使用の際は、ISOFIXコネクタを取り付けてからサポートレッグの高さ調節をします。

回転ボタン

回転操作は、サポートレッグを引き出してからおこないます。

サポートレッグのインジケータが緑色になっていることを確認します。

補足

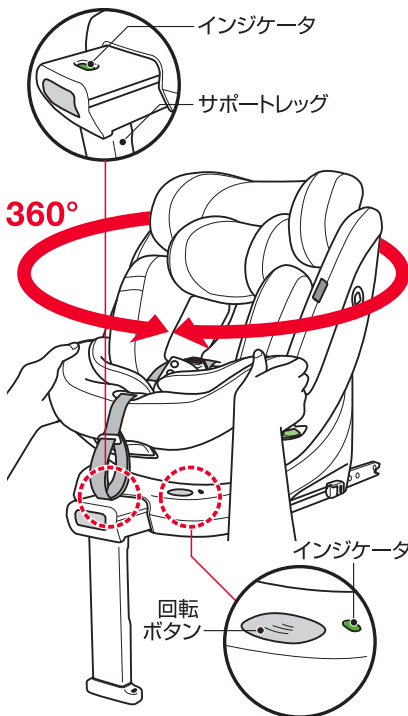
サポートレッグのインジケータが緑色になっていない場合は、回転ボタンを押しても回転させることはできません。

回転ボタンを押してロックを解除し、本体を左右どちら側からでも360°回転させることができます。

回転し始めたら回転ボタンから指を離し、前向き・後ろ向きにします。

※ロックする位置は前向き・後ろ向きの2カ所です。その際に、ベースのインジケータが緑色になっていることを確認してください。

横向き(90°)でも軽く止まりますが、お子様の乗せ降ろし時のみにご使用ください。



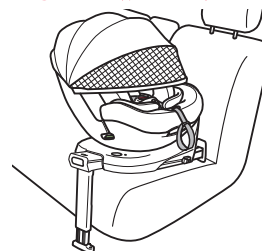
月齢15ヵ月かつ身長76cmを超えるまで**必ず後ろ向き**でご使用ください。

横向きでは絶対に走行しないでください。



警告 本装置のシート部を横向きにしたままで、絶対に走行しないでください。本来の機能を果たさず、たいへん危険です。

※お子様の乗せ降ろしの時のみ横向きにしてください。走行する前に、必ず本体がロックされて回転しないことを確認してください。確実にロックされていない状態では決してご使用にならないでください。



注意 回転させる時に、手や指などを挟まないように、十分注意してください。走行中に回転操作はしないでください。

各部の使い方

ISOFIX

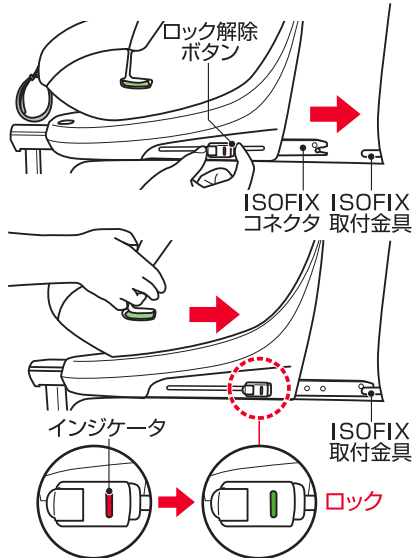
ロックする

ISOFIXのロック解除ボタンを押しながら、左右のISOFIXコネクタをベースの後ろ側に、目一杯押し出してください。

ロック解除ボタンを離すと、ISOFIXコネクタが戻らなくなります。

ISOFIXコネクタの先端をISOFIX取付金具に合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。

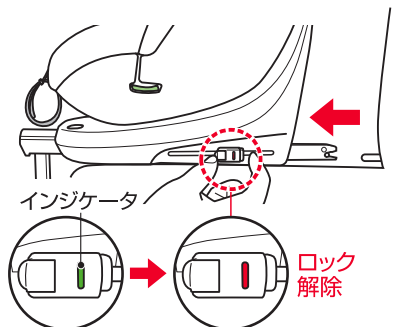
ロックされるとインジケータは赤色から緑色に変わります。



ロックを解除する

ISOFIXのロック解除ボタンを押すと、ロックは解除されます。

ロックが解除されるとインジケータは緑色から赤色に変わります。



取り付け・取り外しの際、ISOFIXコネクタが片側のみ接続された状態で本体を左右に揺ると、ISOFIXコネクタが破損しますので絶対におやめください。

補足

ロックを解除する際は、ロック解除ボタンを左右同時に押してください。

インナークッション

身長が76cm未満のお子様は、必ずインナークッションを取り付けてご使用ください。

インナークッションを取り外してもよい条件は76cm以上(12ヶ月頃)で、

腰と首がすわっていること。

身長が60cm以上のお子様は、体格、着衣により窮屈な状態でしたら、ウレタンや三角パッドを取り外して調節してください。

身長 40cm~	60cm~	76cm~
必ず使用する	<p>ウレタン 三角パッド</p> <p>※お様の成長に合わせて、ウレタンや三角パッドを取り外してご使用ください。</p>	使用しない

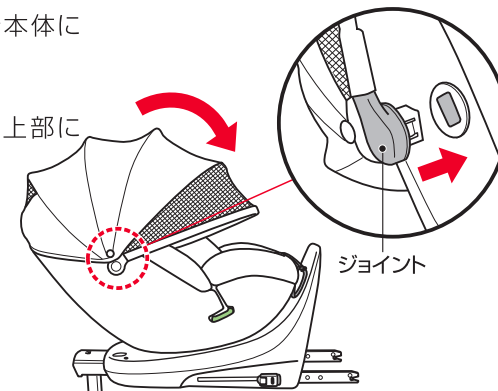
サンシェード

〈ご使用の目安〉

本装置からお子様の頭が出る場合は、ご使用いただけません。

サンシェードのジョイントを本体に差し込みます。

サンシェードの後部を本体上部に掛け、前に引き出します。

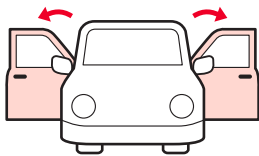


チャイルドシートモードとしての使い方

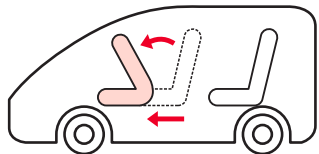
取り付ける前に

作業スペースの確保

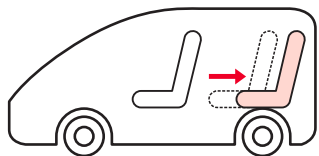
後部ドアが全開可能な平坦な場所で取り付けをしてください。



前席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。

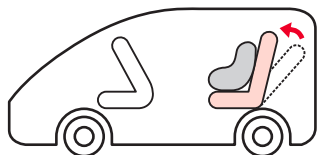


チャイルドシートを取り付ける座席が前後に調節できる場合は、座席をいちばん後ろに下げてください。

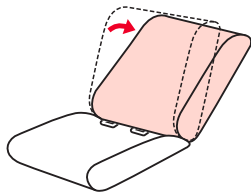


座席の準備

後部座席の背もたれがリクライニングできる場合は、本装置と背もたれとの隙間ができるだけ少なくなるように、調節してください。



背もたれがリクライニングできる座席で、ISOFIX金具が見にくい場合は、背もたれを倒してISOFIXコネクタを取り付けてください。



ISOFIX金具の周辺に障害物がないか、車両のシートベルトが挟まっていないかなどを、確認してから取り付けてください。

本装置を車両に取り付ける

1

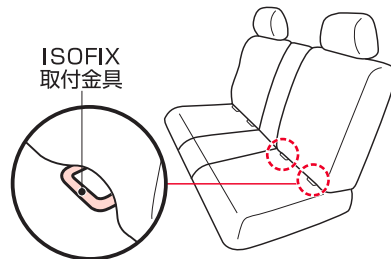
ISOFIX取付金具の位置を確認してください。

補足

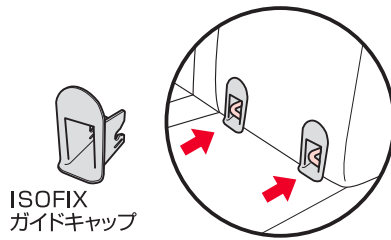
ISOFIX取付金具は、一般的に背もたれと座席の間に装備されています。

ISOFIX取付金具が座席に隠れて見にくい場合は、付属のISOFIXガイドキャップを使用すると取り付けやすくなります。その際、上下の向きに注意して取り付けてください。

※ISOFIXガイドキャップは、ISOFIX取付金具の位置が浅い場合は、必ずしも取り付ける必要はありません。また、すでにキャップの付いた車両には必要ありません。



ISOFIX
取付金具

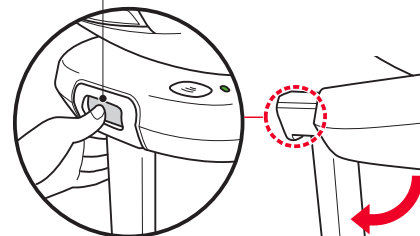


ISOFIX
ガイドキャップ

サポートレッグ
ロック解除ボタン

2

本装置を横に寝かせ、サポートレッグ収納部からサポートレッグを起こします。サポートレッグロック解除ボタンを押してベースから引き出します。サポートレッグのインジケータが緑色に変わるまで手前に引き出します。



インジケータ



チャイルドシートモードとしての使い方

本装置を車両に取り付ける

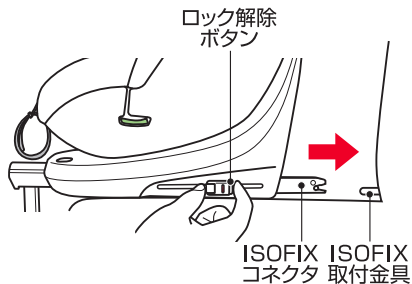
3

ISOFIXのロック解除ボタンを押しながら、左右のISOFIXコネクタをベースの後ろ側に、目一杯押し出してください。

ロック解除ボタンを離すと、ISOFIXコネクタが戻らなくなります。

補足

ISOFIXコネクタの先端を持って戻ると戻らない場合は、再度やり直してください。

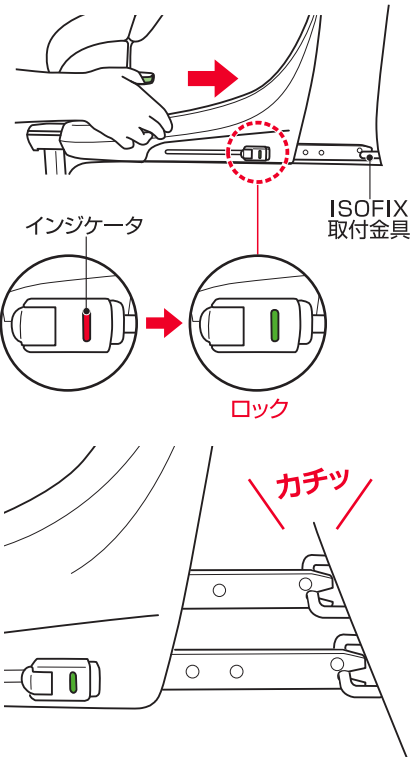


ISOFIXコネクタの先端をISOFIX取付金具に合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。

ロックされるとインジケータは赤色から緑色に変わります。

補足

インジケータが緑色にならない場合は、ロックされていません。再度やり直してください。

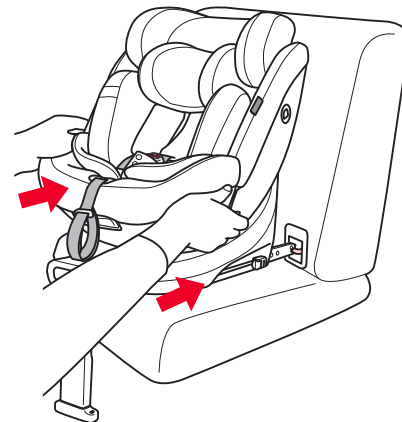


4

左右それぞれのインジケータが、緑色に変わったことを確認できたら、座席にゆっくり押し込んでください。

補足

座席の形状により、ISOFIX取付金具にISOFIXコネクタが届かない場合は、座席の背もたれを倒して取り付け、取り付け後に背もたれを起こしてください。



5

サポートレッグ調節レバーを押すとロックが解除され、サポートレッグが下がります。

車両のフロアにしっかりと接地するとインジケータが赤色から緑色に変わります。



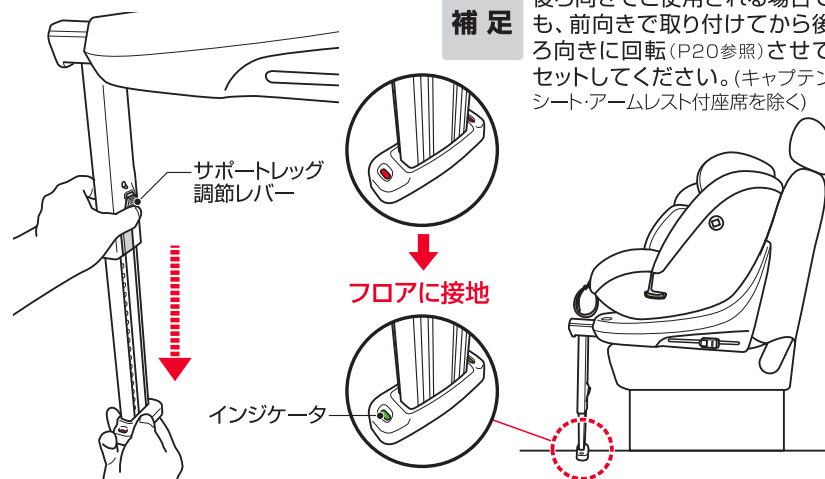
サポートレッグが車両のフロアに接地していない状態で、絶対に使用しないでください。



ISOFIXコネクタの可動部に指を入れないように、取り付けてください。

補足

後ろ向きでご使用される場合でも、前向きで取り付けしてから後ろ向きに回転(P20参照)させてセットしてください。(キャプテンシート・アームレスト付座席を除く)

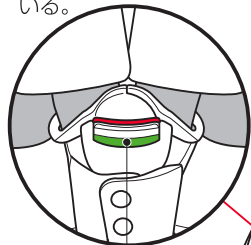


お子様を乗せる前に

車両に確実に取り付けられているか、必ず確認をしてください。

- バックルにタングを差し込んだ際、肩・腰ベルトにねじれがない。

※インジケータが緑色の表示になっている。

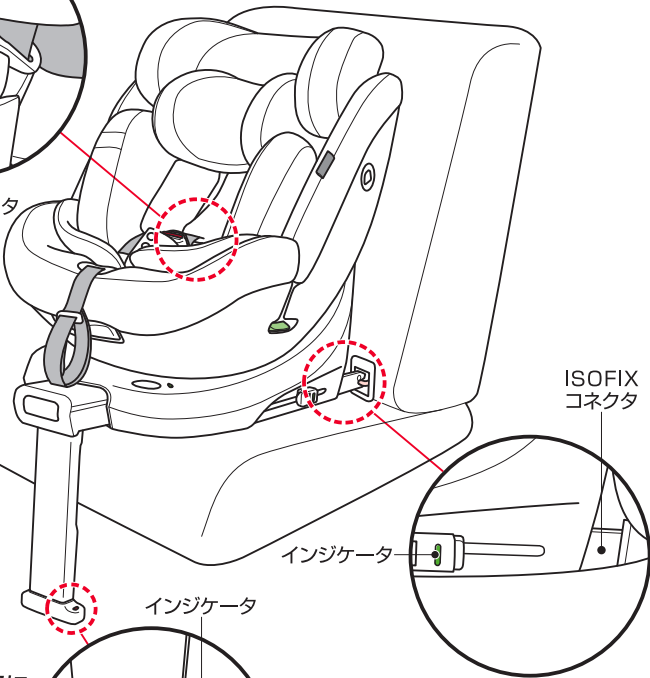


インジケータ

- 本装置を前後に軽く揺すってみて、ぐらつきがなく安定している。

※左右のぐらつきは問題ありません。

- 車両の座席と本装置のベースとの間に、大きな隙間がない。



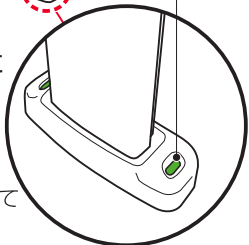
ISOFIX
コネクタ

インジケータ

インジケータ

- 車両のフロアにしっかりと接地している。

※インジケータが緑色の表示になっている。



- ISOFIXコネクタが、ISOFIX取付金具に確実に固定されている。

※インジケータが緑色の表示になっている。

お子様の乗せ方

1

お子様を乗せやすい位置に本体を回転させます。(P20参照)

2

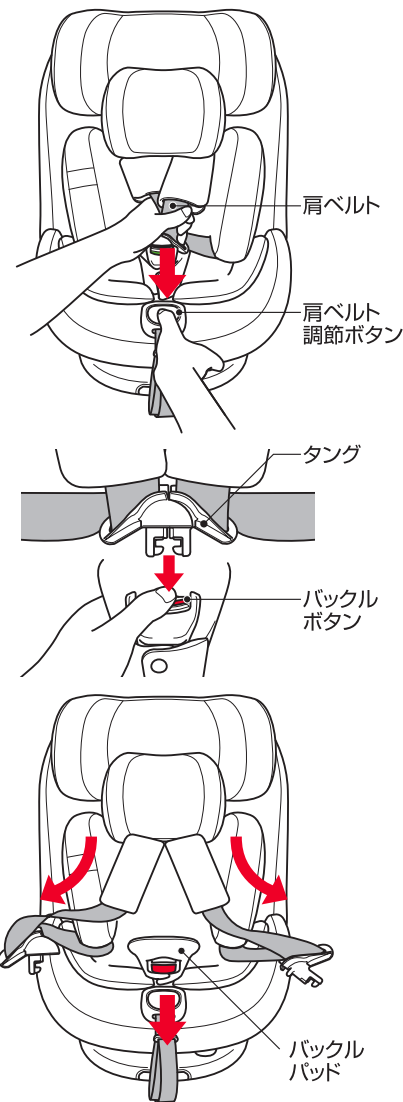
肩ベルト調節ボタンを押しながら、左右の肩ベルトを手前に引っ張って肩ベルトを緩めます。

3

バックルボタン(赤いボタン)を下に押し、タングはバックルから解除されます。

4

肩ベルトを左右に開き、バックル・バックルパッドを前に倒し、お子様が座れるスペースを確保します。

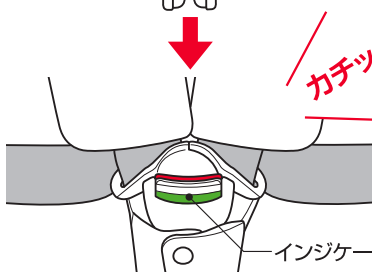
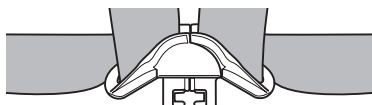
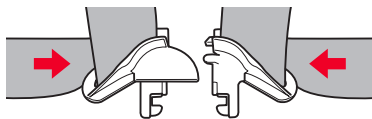


左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

お子様の乗せ方

5

バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座らせ、肩ベルトの下にお子様の両腕を通します。

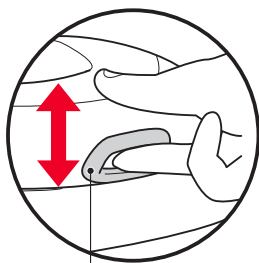


左右のタングを合わせます。タングをバックルに、「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。インジケータが、赤色から緑色に変わります。

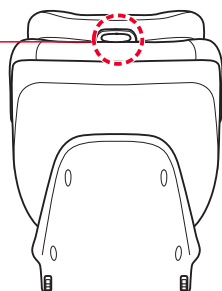
6

肩ベルトの高さを確認して、位置が合っていない場合は、ヘッドサポートの高さを調節してください。

(P17参照)



ヘッドサポート
調節レバー



警告 バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたこと、確実に固定されていることをご確認ください。

補足

ヘッドサポートの高さは、肩ベルトを緩めてから調節してください。

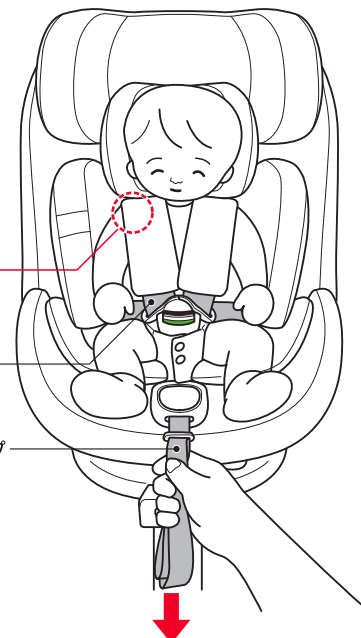
7

肩・腰ベルトに緩みやねじれがないことを確かめてから、肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張って、肩ベルトを締め、お子様を拘束してください。



肩ベルト

肩ベルト
調節ストラップ



月齢15ヵ月かつ身長76cmを超えるまでのお子様は必ず後ろ向きで使用

注意

肩・腰ベルトにねじれができないように、また指を挟まないように十分注意してください。肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節ボタンが破損するおそれがあります。必ず手前に引いてください。

補足

肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

お子様の降ろし方

お子様の降ろしやすい位置に回転させます。(P20参照)

肩ベルト調節ボタンを押して肩ベルトを緩めます。(P16参照)

バックルボタンを押してロックを解除し、肩ベルトを左右に開きます。(P15参照) お子様の腕が肩ベルトに引っ掛からないように注意しながら、ゆっくりとお子様を降ろしてください。



動画

ジュニアシートモードとしての使い方

取り付ける前に

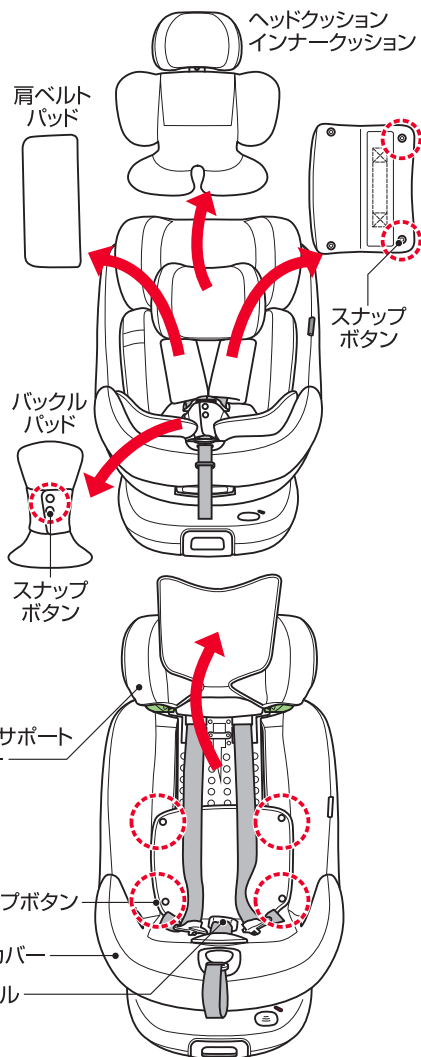
肩・腰ベルト、タング・バックルを収納します。

肩ベルトを緩め(P16参照)、タングをバックルから解除(P15参照)します。

1

ヘッドクッション・インナークッションを取り外します。

肩ベルトパッドとバックルパッドは、スナップボタンを外して取り外します。



2

ヘッドサポートカバーの背もたれ部分を引き上げます。

背もたれのスナップボタン(4カ所)を外して、座面側に倒します。

本体カバーからバックルを引き抜きます。

ヘッドサポート
カバー

スナップボタン

本体カバー

バックル

3

座面のフタを開け、タングをバックルにセット(P15参照)し、その中にタングとバックルを収納してフタを閉めます。

4

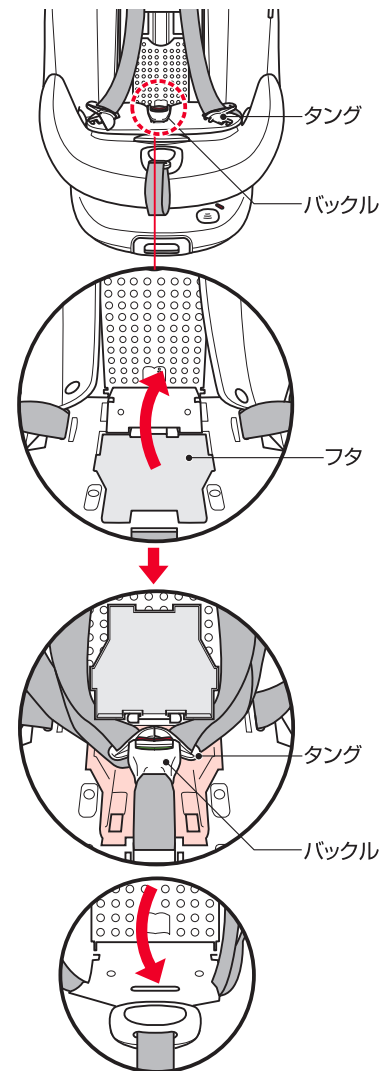
肩ベルトを背もたれのカバーの内側に入れ、本体カバーのスナップボタン(4カ所)を取り付けます。

ヘッドサポートカバーの背もたれ部分を引き下げます。

ヘッドサポート
カバー

肩ベルト

スナップボタン



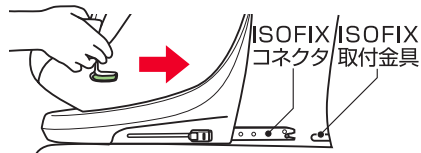
ジュニアシートモードとしての使い方

本装置を車両に取り付ける

「本装置を車両に取り付ける (P25・P26)」を参照し、本装置を取り付けてください。

※サポートレッグは使用しません。

※ISOFIX取付金具の付いてない座席には、3点式シートベルトのみでも使用できます。



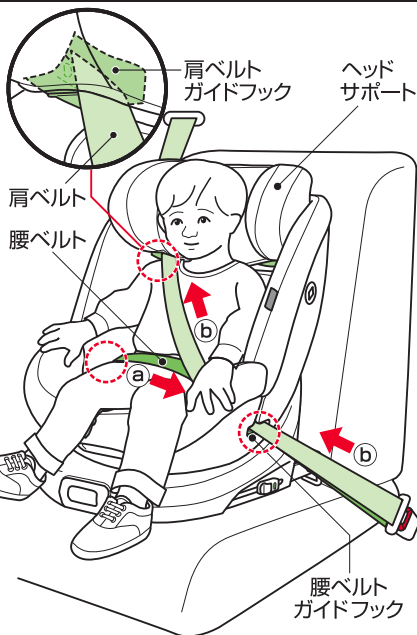
お子様の乗せ方

1

お子様を深く座らせ、ヘッドサポートを頭の高さに合わせて調節します。

(P17参照)

肩ベルトガイドフックに車両の肩ベルトにねじれがないように、お子様の首に掛からないように注意して通します。



2

車両の腰ベルトが、お子様の骨盤の低い位置に掛かるように、左右の腰ベルトガイドフックに通し、タングとバックルをセットします。

3

車両の腰ベルトを引っ張り(Ⓐ)、車両の肩ベルトを巻き戻して(Ⓑ)シートベルトに緩みがないように、確実に装着してください。



お子様の手や腕を、車両のシートベルトで挟まないように、車両のシートベルトの上になるようにしてください。

お子様の降ろし方

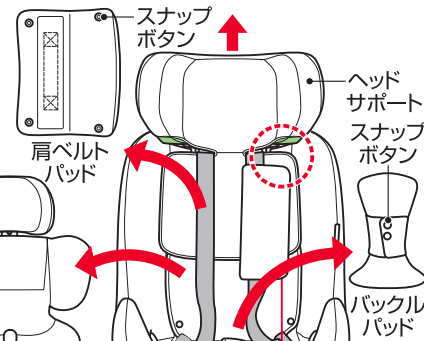
車両のバックルボタンを押してロックを解除し、お子様を降ろしてください。

お手入れのしかた

カバー類の取り外し方

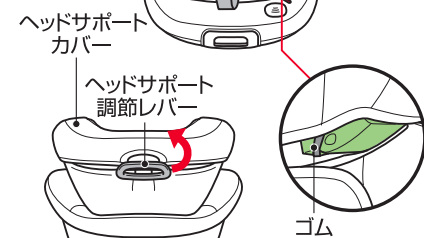
1

肩ベルトを緩め(P16参照)、タングをバックルから解除(P15参照)します。ヘッドサポートを引き上げます。(P17参照)



2

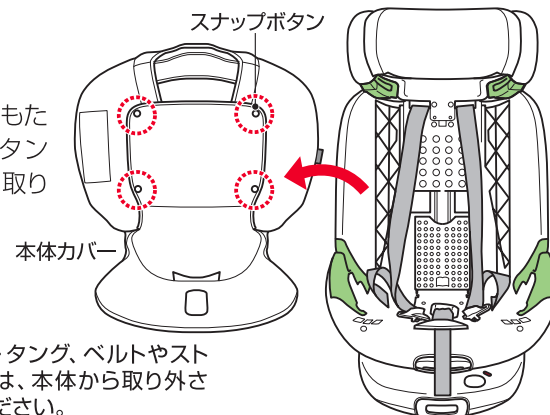
ヘッドクッション・インナークッションを取り外します。肩ベルトパッドとバックルパッドは、スナップボタンを外して取り外します。※ヘッドクッション・インナークッションの中に入っているウレタンと三角パッドを取り出してください。(P22参照)



ヘッドサポートカバーは、肩ベルトガイドのフックに掛かっているゴムを外し、背面のヘッドサポート調節レバーから引き抜いて取り外します。

3

本体カバーは、背もたれのスナップボタン(4カ所)を外して取り外します。



バックル・タング、ベルトやストラップ類は、本体から取り外さないでください。

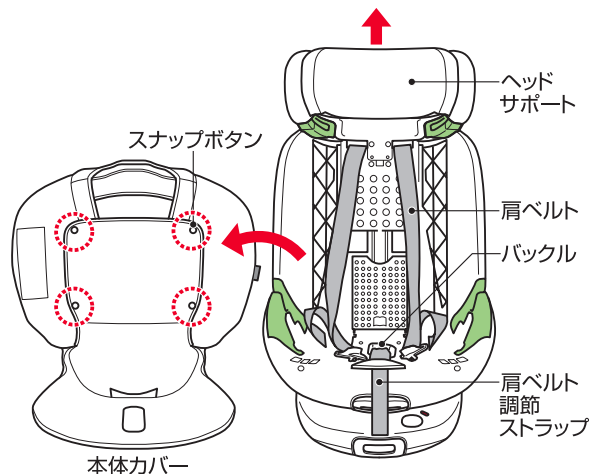
お手入れのしかた

カバー類の取り付け方

1

肩ベルトを緩め(P16参照)、ヘッドサポートを引き上げます。(P17参照)

本体カバーを本体にかぶせてから、肩ベルト・バックル・肩ベルト調節ストラップを、本体カバーの表側に引き出します。背もたれのスナップボタン(4カ所)を取り付けます。



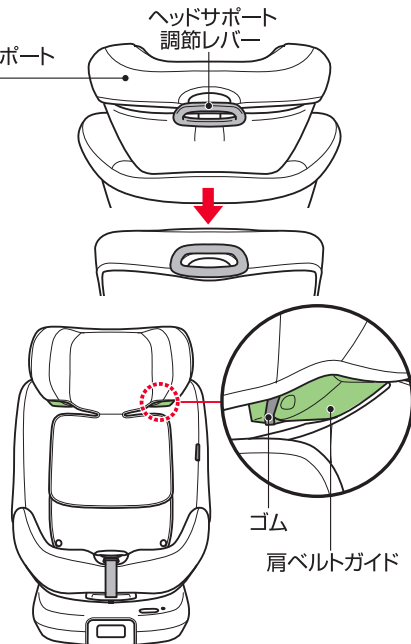
本体カバー

ヘッドサポートカバー

ヘッドサポート調節レバー

2

ヘッドサポートカバーは、背面のヘッドサポート調節レバーに通し、肩ベルトガイドのフックにゴムを掛けて取り付けます。

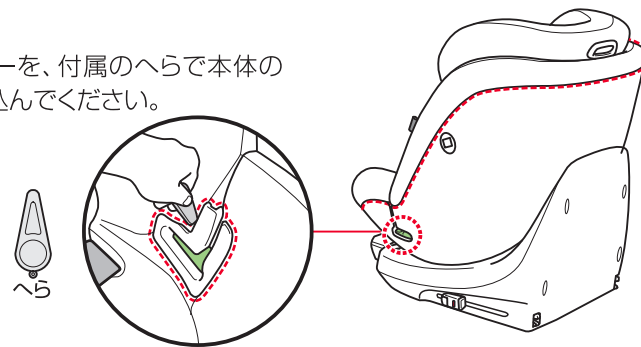


ゴム
肩ベルトガイド

カバー類の取り付け方

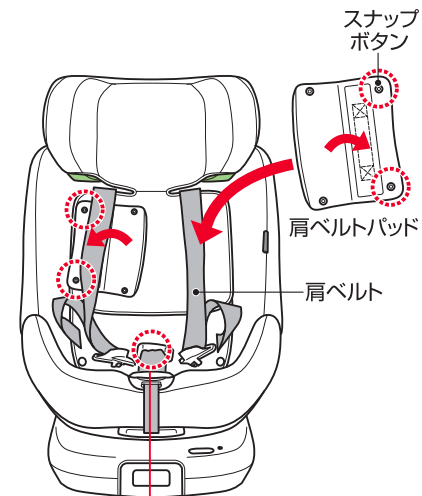
3

本体カバーを、付属のへらで本体の中に押し込んでください。



4

肩ベルトパッドをスナップボタンで、肩ベルトに取り付けます。
※スナップボタンが付いている方を、外側にしてください。



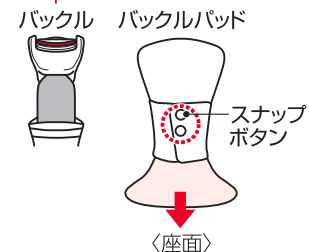
スナップボタン

肩ベルトパッド

肩ベルト

5

バックルパッドをバックルにスナップボタンで取り付けます。
※バックルパッドの下部は座面に押し込んでください。



バックル

バックルパッド

スナップボタン

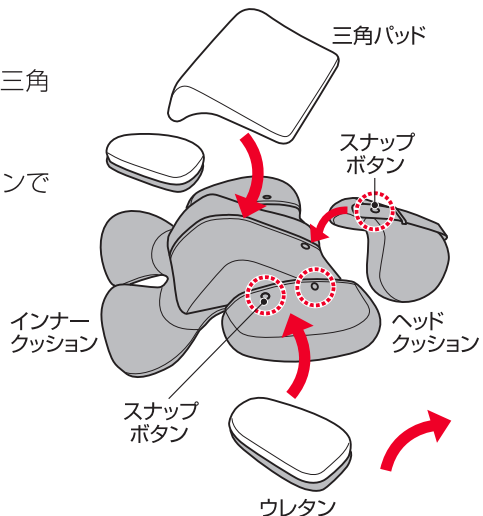
<座面>

カバー類の取り付け方

6

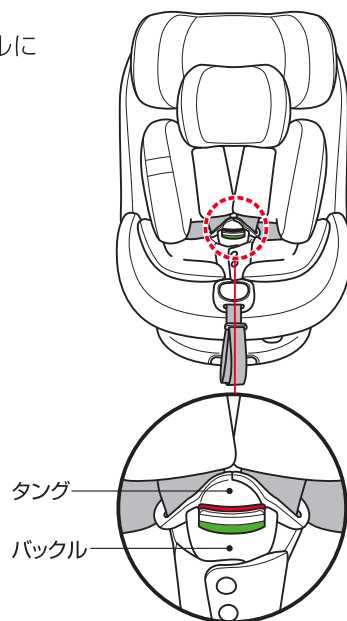
インナークッションにウレタンと三角パッドを入れます。

ヘッドクッションはスナップボタンで取り付け、本体に取り付けます。



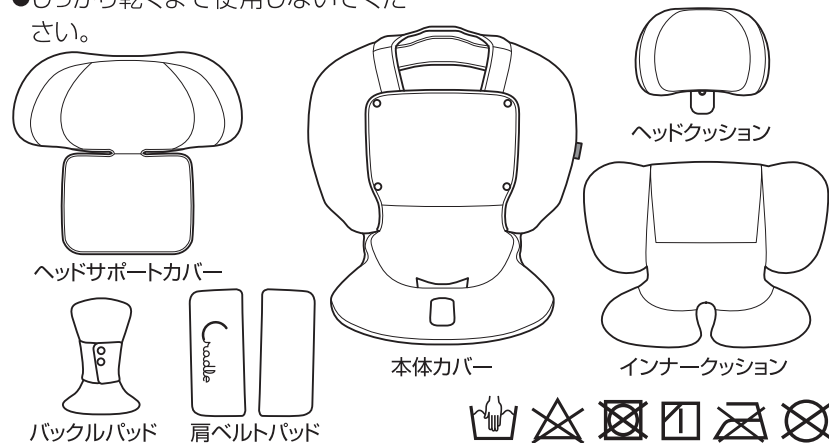
7

左右のタングを合わせ、バックルにセットします。



カバー・パッド・クッション

- 中性洗剤を使い、押し洗いしてください。
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- アイロンがけは、しないでください。
- 脱水機・乾燥機等は使用せず、タオル等で水分を十分取り、風通しのよい日陰で干してください。

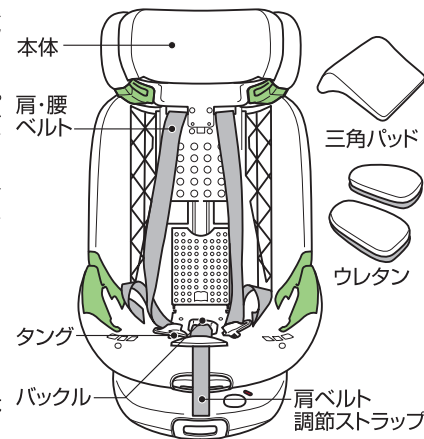


本体・ベルト等

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- バックル・タングに付いた水分や汚れは、しっかり拭き取って乾かしてください。



注意 タング・バックル、肩・腰ベルト、肩ベルト調節ストラップは、本体から取り外さないでください。



困ったときには

ご不明な点は、「お客様相談窓口」(0120-034-017)までお問い合わせください。

●チャイルドシートを取り付けたのですが、安定せずグラグラする。

- 本体を前後に軽く揺すってみて、本装置の座面と車両のシートが約3cm以上ズレないかを確認してください。
- 車両の座席がスライドやリクライニングできる場合は、前にスライドさせたり、背もたれを前に起こしたりすることで、しっかり固定できる場合があります。

●肩ベルトが緩まない。

- 肩ベルトパッドと一緒に肩ベルトを引いた場合は、肩ベルトは緩みません。肩ベルトパッド下側の左右の肩ベルトを持って、引っ張ってください。(P16)

●ヘッドサポートが上がらない。

- 肩ベルトを十分緩めてから操作してください。

●シートベルトで取り付けましたが、緩みやたるみがとれない。

- 本装置を車両の背もたれに押しつけて隙間をなくし、腰ベルトから肩ベルトを巻き戻して緩みやたるみを取ってください。(P33)

●バックルにタングが入らない、または外れない。

- バックルにゴミや水分等が入ったために、バックル解除ボタンが機能しない場合があります。ゴミや水分等を取り除いてもバックルにタングが入らない場合は、「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

●子どもの服が厚いためか、身体が窮屈そう。

- 肩ベルトを緩めて調節してください。(P16)
- インナークッションを取り外してください。

●タングの表裏が反対、肩ベルトがねじれています。どのようにすれば直すことができますか。

- タングが反転して肩ベルトがねじれた場合、タングの近くの肩ベルトを斜めに折り重ね、その折れた部分にタングを通して直すことができます。

●ISOFIXコネクタをISOFIX取付金具にうまく差し込むことができない。

- ISOFIXコネクタを目一杯引き出し、ISOFIXコネクタの先端をISOFIX取付金具に合わせてから差し込んでください。



Q&A

●着用義務があるのは何歳まで？

- 道路交通法には、6歳未満の幼児を乗車させる場合にはチャイルドシート(またはジュニアシート)を使用することが義務づけられています。

●着用義務がなくなったらチャイルドシートは使わなくていいのですか？

- 車両のシートベルトは身長140cm以上を対象に設計されているため、140cmに満たないお子さまの場合(11歳くらいまで)、安全のためチャイルドシート(またはジュニアシート)が必要になります。

●取り付けられるかを知るにはどうしたらよいですか。

- 弊社ホームページから、取り付けができるか否かをご確認いただけます。
※弊社ホームページに記載がない場合は、「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

●後席の運転席側か助手席側か、どちらに取り付けた方がよいですか。

- 助手席の後部をお勧めします。信号などの停車時にお子様の様子を確認しただけたり、お子様の乗せ降ろしが歩道側のできることでより安全です。※国産車の場合

●取扱説明書をなくしてしまった場合はどうしたらよいですか。

- 本装置の『取扱説明書』は、弊社ホームページをご覧ください。

●カバー・パッド類やインナークッションを新たに購入したい。

- 弊社ホームページ、または「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

●友人からチャイルドシートを譲ってもらったのですが、使用しても問題ありませんか？

- ご使用されていた方の使用・保管状況等が明確ではありませんので、ご使用はお勧めできません。万一、事故や落下などでチャイルドシートに衝撃が加わっている場合、十分な性能を発揮できないため重大な傷害につながるおそれがあります。

●廃棄したい。

- お住まいの各自治体の規定に従い廃棄してください。
- 本装置を落としたり強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても決してご使用にならないでください。

MEMO

保証規定

- ① 本製品の品質保証期間は、お買い上げになった日より1年間です。
 - ② 保証期間内には、パーツの欠品、加工不良などメーカーの責任によるものは無償保証といたしますが、お客様の責任によるものは保証いたしかねます。
 - ③ 保証期間内でも、次の場合は保証対象外とさせていただきます。
 - フレームおよびプラスチック部品の自然劣化による変色。 ● ご使用にともなう傷やぶれ、変色。
 - 天災地変や、事故などによる故障や損傷。 ● 有償修理時に要する送料費。
 - 一般家庭以外で、業務などに使用されて故障した場合。 ● 部品の紛失。
 - 保証書およびレシートまたは販売証明書のご提示がない場合。
 - 間違った使い方や改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷。
 - 保証書に製品名・お買い上げ日・お客様名・販売店名のご記入がない場合や、字句を書き換えられている場合。
 - ④ 原則として、一度ご使用になった製品はお取り替えできません。また、パーツ欠品・加工不良のものを除き保証いたしかねます。
 - ⑤ 製品の故障・損傷から派生する間接的な損傷や損害は、保証の対象外となります。
 - ⑥ 事故や落下等で強い衝撃を受けた製品は、保証の対象外となります。
 - ⑦ 保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスは受付できません。
 - ⑧ ご贈答、ご移転で保証書に記入してある販売店に保証サービスを依頼できない場合は「お客様相談窓口」にご相談ください。
 - ⑨ 本保証は保証書記載欄の販売店から、お買い上げ日にご購入されたお客様(贈答品の場合は、保証書記載欄の販売店からお買い上げになられたお客様から贈答された方)にのみ有効です。リサイクルショップやネットオークション等の第三者から購入されたり、譲り受けた場合、使用履歴を確認できない場合は、本保証は適用されません。
 - ⑩ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料保証をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権限を制限するものではありません。この保証期間後においてご不明な点がありましたら、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。
- ※製造が終了してから3年経過した製品や、必要部品の在庫がなくなった場合等、すでに修理対応ができない製品につきましては修理をいたしかねることがあります。
 ※保証期間内であっても、不具合のある箇所によっては修理ができない場合があります。
 ※本保証は事前の通知なく変更される場合があります。

保証書

お買い上げ後、お買い上げ日・お客様名・販売店名を直ちにご記入いただき、レシートまたは販売証明書(ご購入年月日・販売店がわかるもの)と一緒に大切に保管してください。

製品名	クレイドル オーカ	お買い上げ年月日	年	月	日	故障内容記入欄
	クルターンプライム i-Size	保証期間	お買い上げ日より1年間			
お客様	お名前	TEL				
	ご住所					
販売店	店名	TEL				
	住所					

- 万一故障が発生した場合は、この保証書とレシートまたは販売証明書をご提示ください。
- ご提供いただいた個人情報は、保証書に基づくアフターサービスのために使用し、その他の目的に使用することは一切ございません。
- 本書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- ※品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。